

【クラブ活動報告】

地域の「フードバンク」を支援

海南東ロータリークラブ

海南東ロータリークラブ(会長 岸 友子)は、1月22日、例会において、海南市にある社会福祉法人 さくら福祉会のハートリンク さくらが令和5年9月に 立ち上げた「フードバンク事業」に支援の品物を集め、寄贈しました。



さくらのフードバンク事業は、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品の寄付を受け、食べ物に困っている方や、こども食堂、緊急的に食品が必要な方などへ無償で食品の提供を行っています。



当日、卓話いただいた さくら福祉会の岩橋 美和 様からは「先進国と呼ばれる日本ですが、そんな日本でも所得格差は徐々に広がっています。我々は、まず、低所得世帯やゆとりのない世帯を中心に、主に子供と親の支援をしたいと考えました。ひとり親世帯等の生活を支える為のフードバンクを通じた食料支援や、できれば学習支援を行って行きたいと計画しています。まだ食べられるのに

捨てられてしまう食品の寄付を受け、食べ物に困っている方や、緊急的に食品が必要な方などへ無償で食品の提供をいたします。ぜひ皆様には、フードバンクへの食品のご寄付をお願いいたします」話されました。

クラブの社会奉仕委員会では、以前から、地域の3つのこども食堂の支援活動に加え今回の「フードバンク事業」の支援も含め、各種のボランティア団体と協力して、地域に役立つ活動を広げていきます。

「もったいない」を「ありがとう」に
社会福祉法人さくら福祉会の

FOOD BANK
フード バンク

社会福祉法人さくら福祉会
ハートリンクさくら
海南市北赤坂2-1
☎073-484-5000
✉ shien@sakuraclinic.org



フードバンクとは・・・

品質に問題がないのに、賞味期限が近い、包装が破損しているなどの理由で店舗に並べられない食品や、家庭で食べきれない食品など提供してもらい、生活困窮家庭やその支援団体など、必要としている人たちに届ける橋渡しをするのが「フードバンク」です。



フードドライブ

地元の農家
民間企業

経済的自立に取り組む
ひとり親家庭の方